

福島第一原子力発電所現地確認報告書

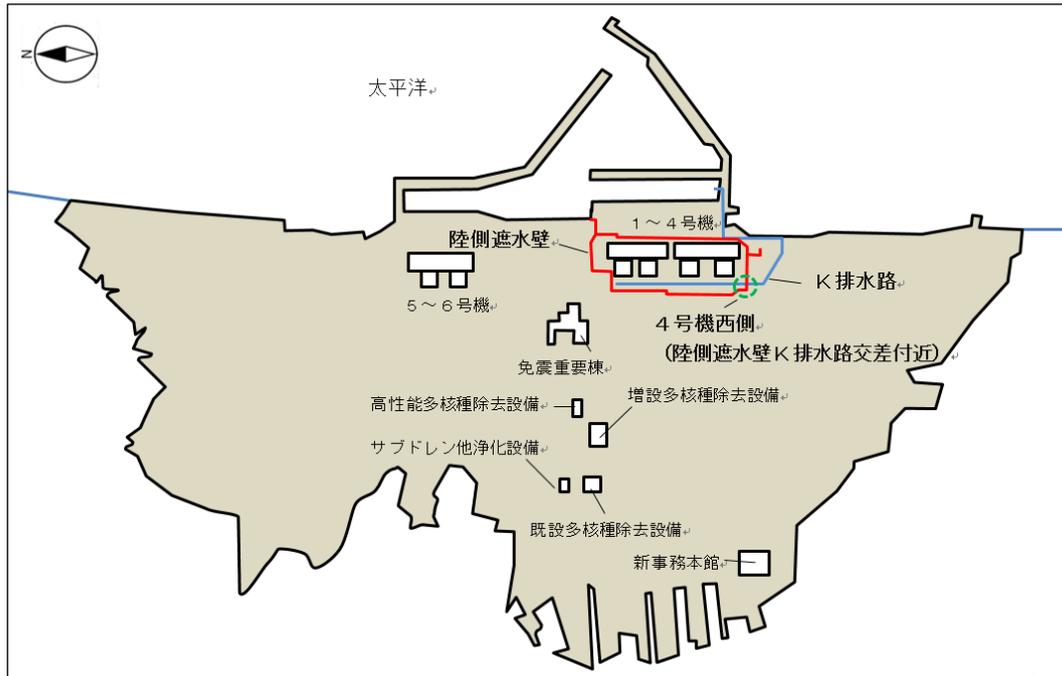
- 1 確認日
令和3年11月20日（土）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の状況

4 確認結果の概要

汚染水の発生抑制が求められる中、原子炉建屋等へ流れ込む地下水量を抑えるため1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）について、一部の地中温度が今年8月下旬から上昇し、0℃を超えている状態が継続している事象が10月13日に確認された。その後、K排水路を調査したところ、底部から地下水の流入が確認されたことから、遮水壁とK排水路交差付近の地下水等の状態を確認するための掘削調査が行われている。（図1）（写真1）

前回の現地確認（11月19日）では遮水壁外側（西側）3箇所で掘削が行われていたことから、引き続き状況を確認した。

- ・ 3箇所の掘削部は、目的の深さまで穴を掘り進めるために、地盤を掘り下げたものである。
- ・ 掘削部3箇所のうち2箇所の底部には、2箇所ずつ計4箇所に鉛直の穴が掘られており、地表面からの深度はそれぞれ2mを超えていたが、穴の底部に地下水や氷は確認されなかった。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
遮水壁外側（西側）の状況
（北側から南側を撮影）



(写真2-1)
掘削部底部の鉛直の穴の状況①



(写真 2 - 2)
掘削部底部の鉛直の穴の状況②



(写真 2 - 3)
穴の底部の状況
(地下水や氷は確認されない。)